

令和3年度 第2学期 終業式 式辞

令和3年度の2学期は、8月30日から始まりました。しかし、その始まりは分散登校によるものであったことが思い出されます。早いもので、本日2学期の終業式を迎えました。今学期も新型コロナウイルスの影響で、本来毎年行っている、3年生の修学旅行や全校生徒が取り組み、春日部市民文化会館にて行う合唱祭、そして部活動の新人戦などの行事が中止となりました。そのことだけを捉えると、とても残念なことです。しかし、飯沼中学校の先生方のご指導のもと、3年生はEーフェスという名の学年の文化祭を自分たちで創り上げ、文化会館ではできなかった合唱祭も、先日、しらさぎ祭と名称を変え、体育館にて全てのクラスが、魂のこもった感動的な合唱を歌い上げることができました。文化部の発表も限られた環境下でよくがんばりました。さらに、中止となった新人戦も、多くの競技で、新人戦の代わりとなる大会がそれぞれ実施され、良い成績が残せた部もありました。昨年度も新型コロナウイルスの影響で似たような学校生活でしたので、同様のことを話しましたが、今年もこの先の諸君の人生の教訓として覚えておいてほしい言葉を紹介します。それは、「転んでも、ただでは起きぬ」です。意味は、たとえ失敗をしたり、不幸な目にあったりしたとしても、必ず何か自分のためになるものを見つけ出し、得ようとするたくましい生き方のたとえです。いつもの行事はなくなりましたが、先生方がみなさんを思い、少しでも普通の授業とは違う学びや経験を通して成長してくれればとの思いで、1年生はSDGsの学習を兼ねた校外学習を、2年生は冬休み明けに予定されているスキー教室の取り組み、そして3年生はEーフェスを企画し、思い出に残るイベントを実施することができました。また、生徒会選挙に係る立会演説会や新入生説明会、保護者会などもリモートで行うことができました。ひと昔前なら、リモートによる活動など遠い未来の話だと思っていたことが、今や当たり前前の活動となっています。これらすべて、「転んでも、ただでは起きぬ」であり、本校の先生方や生徒のみなさんの逞しさによるものだと感心し、また感謝することの多い2学期でした。

今後のみなさんの長い人生の中でも、何か残念な事が起こったとしても、考え方ひとつで、楽しく過ごしたり、大切なものを得たりすることができるということを忘れずにがんばれる人になってもらいたいと思います。

次に、中学生である生徒諸君には、避けて通れない課題として、自分の人生の進路を考えるということがあります。学年により段階を踏んで、進路について考え、学んでゆく訳

ですが、1年生では職業についての学習を3学期に行います、そのために冬休みには家族に仕事について取材するという宿題が出されているようです。世の中には、たくさんの職業があることを知り、そのどれもが、社会に貢献していることなど、広く、働くということについて学びます。次に2年生では、1年生での学びの上に、なりたい職業に就くための道筋を調べ、人生を逆算して考え、中学校卒業後の第一歩を考え、多くの生徒が上級学校に進むことから、上級学校についての勉強を今学期にしました。そして、3年生ですが、いま、自分の卒業後の進路を切り拓くために、不安と闘いながら毎日勉強に励んでいますね。先日、3年生との校長面接がようやく終わりました。面接の場で、多くの3年生に私はこんな質問をしました。「飯沼中学校はどんな学校ですか」と。すると、ほとんどの生徒から返ってくる答えは、「自然豊かで、自主実行をもとに、皆が仲良く勉強や部活動に励む学校です」というものでした。私は校長として、みなさんが愛校心を持っていることに、とても嬉しい気持ちになりました。また、「将来はどのように考えていますか」という質問に対し、医療や福祉関係の仕事に就きたいという生徒が多いことに驚きと嬉しさを感じました。「どうしてそう思うのか」と訊くと、「自分の親や祖父母がその職に携わっていて、その姿を見て尊敬している」という返答が返ってきました。とても素晴らしい家庭環境の基に生まれ育った幸せな生徒だなと思いました。と同時に、将来の夢が、小さな子供が抱く漠然とした途方もない夢ではなく、しっかりと地に足をつけた確かな夢であることに感心しました。3年生は、2月24日の県立高校の受験が終わるまでは、クリスマスや年末年始をも含め、残された日々を勉強に打ち込む日々となります。どうか健康に気をつけ、受験を乗り切り、自分の進む道を切り拓いてください。1、2年生もそんな3年生の後ろ姿から多くを学んでください。3年生の後半になって慌てて、進路を考えるのではなく、いまから毎日考えるのです。結論など出ない者がほとんどなのは当たり前です。中学時代に答えが見つからないかもしれません。しかし、だからといって、考えるのをやめてしまうことは、逃げている者です。考えて、悩み、また考える、青春とは自分と向き合い、自分が何者かを問う時間をいうのです。のんびり遊んでいたたり、現実から逃げていたたりする時間などないのです。

短い冬休みではありますが、飯沼中学校の生徒全員が健康に気をつけて、令和3年を無事に終え、令和4年が素晴らしい年になることを願います。次は、1月11日に会いましょう。

令和3年12月24日 春日部市立飯沼中学校長